

# 那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2019年10月9日  
週報 第2581号

## プログラム案内



本日のプログラム

10月9日 (水)

- ・点鐘
- ・ロータリーソング
- ・それこそロータリー
- ・会長報告
- ・幹事報告
- ・「米山財団について」

米山奨学委員長 崎原信一 会員  
次回予定

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を  
深めるか
- 4、みんなの為に  
なるかどうか

## 例会報告

第2697回 (2019年10月2日)

### 出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
61名	38名	20名	66%	64%

石川、高田、宮里、具志堅 (一)、上原、大城 (博)、  
儀部、福重、久保、大城 (純)、立津、城間 (久)、  
丸橋、照屋 (紀)、比嘉 (芳)、宮城、與儀、眞榮城、  
古荘、堀井会員

メイクアップ会員

比嘉広明 (9/27 地区大会実行委員会)

大庭 憲 ( )

伊野波盛求 (9/30 那覇南)

小林 充 (10/1 東京セントラルパーク)

### 会長報告

10月になりました。

台風が過ぎ去るたびに凌ぎやすくなっています。本日



会 長 比嘉広明 副会長：大城純市 新里順一  
幹 事：大庭 憲

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6階

TEL : 861-7824 FAX : 861-7825



### 会長報告

本日11時より理事会を開催しました。先々週決算が完了し、年度の予算案が決定、これをもとの今年1年の事業に取り組んでいきます。皆様のご協力をお願いします。先週金曜日、地区大会の実行委員会に出席させていただきました。少しお尻に火がついているのかなという印象。我々は初日にRI会長代理の歓迎晩餐会を担当、本日例会後に歓迎晩餐会の実行委員会を開催しますが、早急に物事を決めて、全体の実行委員会に提出いきたい。今月は宮古島IMがあります。現在、出席予定が10名と少し寂しい状況。まだホテルに余裕があるので、ご参加できる方は申込みください。その中で、各クラブの創立から現在までの奉仕活動の発表依頼がきました。発表の準備にあたり、各委員会のも協力をいただきたい。本日は仲本会員による卓話「スマートシティ」興味がある分野で、わかりやすい内容に期待したいです。

### 幹事報告

石垣で台風の影響で通信障害が発生。実は昨日、石垣に出張予定、朝8時半に那覇空港へ。通信障害で欠航と案内あり。どうしても行かなければならなかったのでキャンセル待ち。那覇空港で4時間足止め。2階でコーヒーばかり飲んで待った。飛行機に搭乗する時は通信障害に注意。青少年育成ゴルフ大会は10月14日に実施予定でしたがジュニア選手権大会予選と重なり中止。豊村会員が理事長を務める社会福祉法人ニライカナイ主催の地域交流グランドゴルフ大会が11月10日日曜日9時半～13時半ユインチホテル南城で開催。沖縄文化IM申

込は本日最終申込の受付を本日行う。事務局まで。

### 卓話 仲本会員「スマートシティについて」

これまで情報通信業界で50年務めてきた。これまでの振り返りと同時に、これからの変遷について



話したい。先ほどの通信障害。サメに食われたり、サンゴ礁にやられたりが原因。その際活躍するのはダイバー。ダイバー育成・派遣の新規事業を立案したことあり。その他、電柱工事のノウハウを生かして米軍フェンスの設置工事約30億円を受注。既存の業者から石を自宅に投げられたことも。工友社倒産後、ウィルコムへ。ドコモがPHSを撤退した時期。当時4万台を割り込むと赤字。沖縄ウィルコム入社と同時にウィルコム本体が倒産。沖縄電力とRBCが株を保有、本体いなくても経営は成り立つ。その頃「誰とでも定額」という新サービス発売。新しい手を経営が危ないと考え、一部役員反対を押し切り、多額の資金をつぎ込み、記者会見も開催した。4月開始後、5月から売り上げがウナギのぼり。ショップではめったにない行列ができた。退くまでに14万台に。ソフトバンクも目をつけ、ワイモバイルの話を持ち込まれたが、ドコモから恨まれると思いやめた。社長を退く際、スマホへの衣替えをした。NTT時代、電通と広報の仕事をしていた。広報は外向けにPRする仕事。重要なことは①注意をひくこと、②相手の感情を動かすこと、③購買に結びつけること。収益も沖縄県下30番目となり、資金を広告に投じれば、衣替えは可能と考え、約1億円投じてTVCMを打った。その後しばらく仕事を離れて沖縄国際大学で受講。情報と社会という講義があり、学生の授業として成立するのかと驚いたが、受講していると、私が経験した情報通信の変遷を話しているだけ。これなら私でもできると思ったが、既に年齢的な問題で難しい。バギオで情報通信の重要な点に気づかされたことがある。日本人学校でカレーを食べた際、貧しい子供達が皆携帯電話を持っている。固定電話がないため。沖縄より携帯電話の普及率が高い。既存の技術にとらわれず進歩することが情報通信では重要と気づいた体験。本日参加している三浦君はウィルコムの社員だが、私はやめる前、進歩してやめたいと三浦君と新規事業に取り組んだ。ロボットを用いて各地で研修を行ったり、IOTでヘリコプターを飛ばしたりした。このような話をある会社の社長にしたところ、社員に研修をしてほしいということに。その会社の幹部のみなさんを集めて、IOT、AI、ロボット、これからはこんなことになるだろうと、かなり勉強しなければ大変なことになるという話をした。その後電話がかかってきて。会社創立60年、これから脱皮したい。コンサルしてほしい。言い出した手前、ひけない。日本でもっともIOTが進んでいるところは富山。会社会長、社長、私、SEの4名で富山に行くことに。富山のスタバは世界で一番美しいを言われている。公園の中にあり、周囲何にもなくガラス張り。富山は環境保全に力を入れている。Wi-Fiもどこでも使える。もともと富山は宇奈月温泉に行くために2年に一度行く。富山のIT企業インテックの会長と一緒に。俳句も作る。インテックの紹介で富山市長

も紹介してもらった。スマートシティに情熱を持っており、現在コンパクトシティに注力している。これまで都市部にはネットワーク構築など資産を投じている。都市部の人口が減少すると宝の持ち腐れになる。楽しい街になればひとは集まる。落としよりでも乗れる。ライトレール、市内循環バスなど。これがコンパクトシティ。次はスマートシティ。総務省の外郭団体テレコムサービス協会には沖縄でも15~6の団体が加盟している。私はその団体の相談役。センサー、ビッグデータ、共通ID、ワイヤレス、クラウドなど最先端の技術をIT行政、農林、エネルギー、教育、医療、健康、交通等の分野に適用していくプランあり。元になるのが地域の課題で、これを解決するために最先端技術を駆使する。地域の課題となると差があり、沖縄を例にとってみると、宜野湾では低所得者が多いことが課題だが富山では課題にならない。センサー、ネットワーク、ビッグデータ、クラウド、ブロードバンド、ワイヤレスを利用して、どこにいてもICTを活用して行政サービス、暮らしの安心情報の提供、住みたくなる環境の提供を受けられるようにしようという動きがある。同時に災害に強い街づくりを実現していく。これがスマートシティ。これはパッケージ化でき、発展途上国に販売できる。国際社会への貢献と、雇用の創出も実現できる。富山は98施設にアンテナを設置、独自のネットワークを構築、条件を満たせば無料で利用できる。富山市では5月~6月、民間募集にICTの実証実験に協力してくれる企業を募ったところ23社が手を挙げた。業種は介護、農業など様々。効果があるものは他市も模倣する。そうすると県全体に広がる。ネットワークで困っている部分は通信費を無料にしている。手をあげてくる企業多い、はずれた地域は通信料かかる。具体的にICTにかかわる日本の企業はNEC、日立、富士通、NTTデータなど、これだけで70%。ZOZO、アプリ開発など派手な話はあるが、IT一番儲かるのはネットワーク構築。地味だから目立たないが。IT企業とはユーザーの要望に対し、システム、設計、テスト、SEとプログラマーで構築していく。構築後の保守が儲かる。沖縄のIT企業の収益は4361億。一企業当たり利益更新。しかしIT企業に勤務する約2.7万名のうち半分はコールセンター、残りの2/3は内地企業の支店。沖縄のITはこれから。起業に最適なのはIT。テレコムサービス協会がITを使った発表会をやっている。沖縄の高専が全国大会に出場、実に堂々とした素晴らしいプレゼンで驚いた。高校野球沖縄代表が全国で活躍するのと同レベル。沖縄の企業でITを導入して活性化したい企業があれば、是非テレコムサービス協会へ相談してほしい。